事務事業実績測定調書

事務事業名称	市立病院医療情報システム更新事業								
測定年度	2020(R2)年度		部	市立病院事務局			課	医事課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市病院事業の設置等に関する条例				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立ひらかた病院で治療が必要とされる患者			
	サブターゲット	市立ひらかた病院で治療行為を行う為、医療情報システムを使用する者			
	ターゲットが抱える課題	電子カルテシステムは、本院の治療の根幹を支える物であり、継続的に安定して動作する必要がある			
	ターゲットが抱える課題	パソコンやプリンター・サーバーは使用年数により劣化し、安定した動作を担保出来ない			
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	平時より、保守等の業務や、継続的に使用できる様更新作業も行い、安定した医療情報システムの運用が行える状態。				
事業概要	現在使用している医療情報システムの安定した運用のため、保守および更新の管理を行う。また、適正な診療を行うためのシステムを導入し、地域の中核病院として診療体制を確保する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		安定した医療情報システムの運用が行える。	医療情報システムの保守および更新の管理を行う。令和元年9月にシステム更新を行った。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					不具合の修正対応件数。(解決・別方法による作業の提案を含む)				診療に支障が出る、もしくは業務に負荷がかかるような不具合の発生件数。システム改修後は件数増加(次回R08)			
			単位				単位	件			単位	件
指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					24	20	16	12	24	20	16	12
実績					27				27			
達成度					88%				88%			
分析					新型コロナウイルス感染症に係る緊急の改訂等があり、稼働に関して十分な検証が行えなかったために不具合などの修正対応が発生したもの。				新型コロナウイルス感染症に係る緊急の改訂等があり、稼働に関して十分な検証が行えなかったために不具合などの修正対応が発生したもの。			

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	21,070	18,112	15,950		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	2,025	2,025	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	23,095	20,137	15,950		
	物件費計		73,725	94,728	92,888	98,532	94%
	歳出計		96,820	114,865	108,838		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		66,500	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		66,500	0	0	0	
一般財源			30,320	114,865	92,888	98,532	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に伴う医療情報システムの改修等がありシステム不具合などの修正対応が発生したが、その後の適正な運用によりシステム不具合の発生率が減少し、地域の中核病院としての診療体制を確保することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	医療情報システムの安定した運用のため、今後も継続的にシステムの更新及び保守管理に関する業務を行うものとする。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	市立病院診療関係調整事務								
測定年度	2020(R2)年度		部	市立病院事務局		課	医事課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市病院事業の設置等に関する条例				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立ひらかた病院で治療が必要とされる患者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医療サービス従事者の知識やスキルにバラつきがあれば、質の高い医療が恒常的・継続的に受けられなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	地域の中核となる公立病院として、患者に対して医療体制を確保し質の高い医療をサービスを提供できている状態。				
事業概要	①診療および健診提供体制の確保のため必要な連絡調整 ②患者等の受付・登録、診療費の計算・請求、病名登録、各種診断書・証明書の受け渡しなど ③カルテ管理等の医師事務補助作業 ④診療報酬の請求業務 ⑤医療情報システムの運用・管理 ⑥医事業務委託の履行確認等				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		質の高い医療をサービスを提供できる。	診療および健診提供体制の確保等のため必要な体制を構築する。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		医師事務作業補助者が、医師と同席し診療補助を行った患者数。(1日平均)	医師事務作業補助者の配置人数(外来配置の最大人数)
単位		人	人
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					130	140	150	160	14	15	16	16
実績					151				15			
達成度					116%				107%			
分析					医師からの配置要望に伴い、医師事務作業補助者の外来配置人数を増やしたことにより、診療補助を行った患者数が増加したもの。				医師からの配置要望に伴い、医師事務作業補助者の外来配置人数を増やしたもの。			

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	18.55
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,902	83,214	19,938		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	57,735	0	54,901		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	73,637	83,214	74,839		
	物件費計		262,459	284,764	312,133	304,599	102%
	歳出計		336,096	367,978	386,972		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			336,096	367,978	312,133	304,599	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症などに伴い例年よりも作業量が増加したことから、一部医事業務を追加で委託するなど各部門において柔軟な対応を行った。 また、各種対応マニュアルを整備するなど業務の効率化を図ることにより、地域の中核病院としての適正な診療体制を確保することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も必要な診療体制を整えていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	市立病院医事課運営事務									
測定年度	2020(R2)年度			部	市立病院事務局			課	医事課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	医事課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医事課所管の運営事務を効果的・効率的に執行する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務をすべての職員が適正かつ効率的に執行するための専門的知識を習得できている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル			

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	単位	単位	単位
指標種類			

指標数値	アウトカム R2	R3	R4	R5	アウトプット R2	R3	R4	R5	インプット R2	R3	R4	R5
目標（見込み）												
実績												
達成度												
分析												

3. 人員体制

（人）

	R2
正職員（再任用）	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.87
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,746	13,273	11,963		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	1,285	497	2,575		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	10,031	13,770	14,538		
	物件費計		585	0	0	0	―
	歳出計		10,616	13,770	14,538		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			10,616	13,770	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い例年よりも事務量が増加するなどしたが、一部業務の見直しやマニュアルの整備などに取り組み、適正に事務を執行することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	医事課の運営に関する事務について、適正に処理を行うとともに効果的・効率的に業務を執行していく。